

主 催： 渡部昭男（研究代表者）大阪成蹊大学（特別招聘教授）／元神戸大学
基盤研究(C)課題番号 19K02864（2019-21年度）・22K02702（2022-25年度）
高等教育における経済的負担軽減及び修学支援に係る法・制度・行財政の日韓比較研究
コロナ禍における高等教育の経済的負担軽減及び修学支援に係る日韓比較研究

日 程： 2023年 11月4日（土）（開場 12:45）13:00～16:00 予定

企画テーマ： 日韓/韓日対話 第6回企画

コロナ禍が日韓の大学教育にもたらしたもの

——(韓国)チョン・ビョンホ、(日本)光本滋の論考をもとにした対話——

趣 旨：

コロナ禍に関わって、日本学術会議は公開ワークショップ「新型コロナウイルス禍の下での持続可能な発展のための教育の推進」（2020.9.5）、学術フォーラム「人口縮小と『いのちの再生産』—コロナ禍を超えて持続可能な幸福社会へ—」（2020.11.25）などを主宰し、コロナ禍における学術の役割やあり方を問いかけている。日本教育学会でも、第80回大会（2021.8.25-27、筑波大学）において公開シンポジウム「コロナが投影する学校教育の『本質』」、課題研究「ウィズ/ポストコロナ時代における包摂的な政策と実践を展望する」等を設定している。日本高等教育学会は「コロナ禍で生じた諸問題は、従来の大学改革論議を加速化させるのか、あるいはこれまで見落としていた重要な課題を浮上させるのか」として、「アフターコロナの高等教育（政策）を展望する」ことを主目的に「新たな大学像の模索」というタイトルの特集を組んでいる（2021『高等教育研究』（24））。今回の第6回対話企画では、チョン・ビョンホ氏&光本滋氏の論考をもとに、「コロナ禍が日韓の大学教育にもたらしたもの」をテーマにコロナ禍が大学教育に如何なるインパクトを与え実際に国及び各大学等がどう対応したのか等を論議したい。

司 会： 渡部 昭男（大阪成蹊大学／元神戸大学）

次 第：

13:00～ 開会挨拶・趣旨説明：渡部 昭男

13:10～ チョン・ビョンホ(Jung Byoung-Ho)氏（ソウル市立大学法科大学院教授／韓国民法学会理事）
「コロナ事態による韓国の大学授業料返還運動」

日本語 <https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012467>

韓国語 <https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012466>

翻訳／通訳：多胡 太佑氏（北海道大学大学院生）

14:00～ 光本 滋(Mitsumoto Shigeru)氏（北海道大学准教授／大学評価学会副代表）

「日本における2020年の学費減額運動の検討」

日本語 <https://hdl.handle.net/20.500.14094/90008816>

韓国語 <https://hdl.handle.net/20.500.14094/90009015>

翻訳／通訳：肥後 耕生氏（豊岡短期大学准教授）

14:50～ 休 憩

15:00～ 総合討論 通訳：肥後 耕生氏、多胡 太佑氏

15:55～ 閉会挨拶：渡部 昭男

参加呼掛け： 科研費で寄稿をお願いした両国の研究者による ZOOM 集会

（日本教育学会、日本教育行政学会、日本教育法学会、大学評価学会などに企画を案内）

照 会 先： 渡部昭男 awtnb2188@gmail.com（参加無料／要事前登録）

事 前 登 録： 申込書 <https://forms.gle/2jjHLEBdo7wyqTht7>

備 考： Kernel にアップしている論考をベースに意見交換する形で共同研究を深めたい。
科研費研究は広く一般に成果を還元することが求められており、当日資料と ZOOM 録画を神戸大学学術成果リポジトリ Kernel にアップし公開する。